



たかつな

発行責任者 濱中 浩

令和7年3月18日



昨年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行されましたが、まだまだ不安も感じながら、引き続き対策を講じながらという学校生活でした。今年度、様々な感染症等の防止を意識しながらも、ようやく通常の学校生活を送れるようになってきました。

そういった変化の中、3年生85名が明日無事に卒業式を迎えることができます。今日まで笑顔で絶やさず、前向きにひたむきに学校生活を送り、立派に成長を遂げてくれました。

3年生の保護者の皆さま、お子さまのご卒業おめでとうございます。日頃より温かいお心遣いをいただき、お支えいただきました。本当にありがとうございました。

以下に、書面で市長から祝辞をいただきましたのでご紹介いたします。また、以前にお世話になった先生方からいただいたものも一部ではありますがここにご紹介させていただきます。

祝 辞

卒業おめでとうございます。皆さんの中には、中学校で多くのことをやり遂げた達成感と新しい世界への希望にあふれていることと想います。大勢の友人と過ごして知った多様な価値観や、先生や地域の皆さんに支えられて得た様々な学びは、皆さんが未来を切り拓いていく大きな力になるはずです。

昨年、映画『ゴジラ-1.0』でアカデミー賞視覚効果部門を受賞した松本市出身の映画監督、山崎貴さんは、「長野県の美しい自然の中を育ったことは、自分の作品にも影響を与えていて、このまちで生まれてよかった」と語っています。自然豊かな環境に恵まれる「首都」、文化・芸術活動が盛んな「楽都」、生活の中にある学びを大切にできた「学都」。この「3ガク都」に松本市の魅力が詰まっています。北アルプスや奥三河を誇る自然の景観、世界一歳の音楽家が輩出「セイジ・オザワ松本フェスティバル」、開校学校の設立以来受け継がれてきた「進取の気風」は、私たちの誇りです。

中学校では、自分で見つけた課題について、必要な情報を収集・整理・分析し、わかったことをまとめて表現する、「探究的な学び」を深めることができたと想います。予測困難な時代だからこそ、自分が決めたゴールに向かって軌行継続を重ね、多様な考えを持つ人々と切磋琢磨して、新たな価値を生み出していってください。

地元を大切に、市に世界へ目を向け生きていく。皆さん一人ひとりが、豊かで幸せな未来を手にするごことを願っています。

令和7年3月19日

松本市長
臥巻 義典

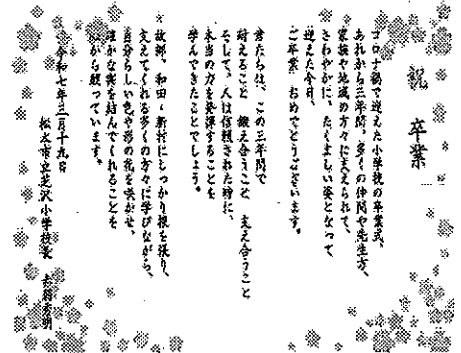
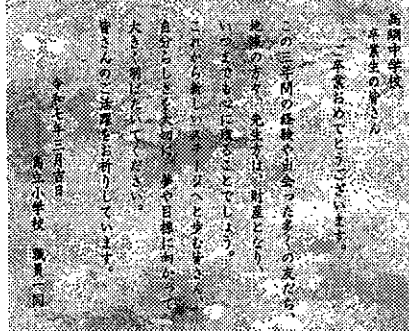
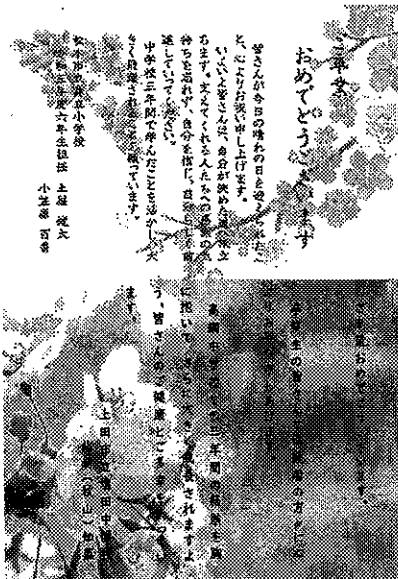
松本市立高綱中学校卒業生の皆さんへ

ご卒業おめでとうございます。

中学校での思い出と共に、夢に向かって大きく羽ばたいてください。
皆さんの未来に幸多かれと願っています。



令和3年度 松本市立高綱小学校 6学年担任
下平 美理 杉澤 広希



転退職員の紹介



氏 名	教科・担当・役職	転 任 校 等
小倉 丞	3年担任 数学	安曇野市立穂高西中学校
鈴木 仁子	2年副担任 英語	松本市立信明中学校
中村 彩乃	養護助教諭・特別支援教育支援員	筑北村立聖南中学校
阪西 歩	学校司書	松本市立松島中学校
井出 和宏	学校施設管理職員	未定
小松 直彦	初任者研修指導員	松本市立梓川中学校
Hernan Rivero	英語 (ALT)	退職

